



# プロバスだより

## 第318号

2022年5月12日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年10月18日

2021～2022年度 テーマ

プロバスライフを「元気にたのしもう」

### 第318回例会

日時 令和4年4月14日（木）

場所 八王子エルシィ

出席者 出席者 36名 出席率 75%

（会員総数50名、欠席12名、休会2名）

#### 1. 会長挨拶

#### 河合会長

早くも桜の季節4月、今期10回目の例会です。しかし、実際にはコロナ禍のために半分程度しか集まれないのが実態です。世界でコロナウイルスの感染者が5億人を超えたと新聞で報じられていましたが、最近でも第7波の到来が話題に上っています。



まだまだ混乱が続くと思われませんが、今日は感染防止に万全を期して、せっかく集まったのですから、楽しい一時にしたいと思います。久しぶりに卓話も予定されていますので、期待をしたいと思います。それではこれから例会に入ります。

#### 2. ハッピーコイン披露

池田副会長よりハッピーコイン16件の披露がありました。（3～4ページに掲載）

#### 3. 卒寿の祝

佐々木研吾会員が卒寿を迎えられました。ご本人は休会中のため、お祝の品はお届けすることにしました。



#### 4. パースデーカード贈呈

4月生まれの会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られました。



写真左から内山会員、池田会員、塩澤会員、井上会員と会長

#### 5. 3月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンスの当選者は、有泉会員、内山会員、東山会員でした。

#### 6. 幹事報告

#### 山口幹事

幹事報告は次の通りです。

「蔓延防止等重点措置法」が解除されてほぼ3週間が過ぎた訳ですが、オミクロンの感染は東京で8,000人台と高い感染者数が続いています。

特に若い人たちの感染者数が多いとは言え、我々老人も十分に気を付けることが必要かと痛感しています。今回も先月3月の例会と同様、あくまでもスペースは広く、十分に気を付けた例会の開催としました。

「気を付けながら、それでいてコミュニケーションを通じた楽しい例会」であることを願っています。

さて報告ですがまず第一点、

本年度3人目の卒寿のお祝いの誕生者が出ました。休会中の佐々木研吾会員です。リハビリ中と聞いていますのでお祝いの品を届けたく思います。

2点目ですが、これは誠に残念なことです。クラブの名物会員で、バナナのたたき売りや蝶々の舞のほか、この上なく楽しい会員である会員番号81番、下田泰造会員が健康上の理由により止む無く退会となりました。大変残念に思います。

これで構成人数は活動会員48名、休会2名の50名

となっています。

次に、第26期も第4四半期に入り3か月を残すところとなりました。

予算の執行状況ですが、3度の例会中止や学習サロンの中止ほか様々な要因がありますが、まずは執行状況について問題となっている費目はありません。取り敢えずは順調に推移しています。以上です。

## 7. 委員会活動報告

### (1) 情報委員会

内山委員長

小中学校音楽活動優秀校の音楽祭が開かれましたので、今月号は6頁となりました。例会が中止されると2頁だてになりやすいのですが、何とか回避してきました。2頁以上の誌面を作ってゆくには、卓話、同好会活動報告、寄稿文などが必要となります。今後も充実した誌面づくりを進めてゆきますので、会員皆様方のご協力をお願い致します。

### (2) 地域奉仕委員会

馬場委員長

本来なら本日は「生涯学習サロン」第3週のカリキュラムを実施する日でした。コロナ禍によって第24期から第26期まで連続して「生涯学習サロン」は中止となり、地域奉仕という重要な役割を果たせず誠に残念であります。地域奉仕委員会の現メンバーの多くは、24期から引き続くメンバーであり、毎期の準備作業に力を注いで頂きました。残念にも成果に結びつきませんでした。皆様の真摯な努力に改めて感謝申し上げます。なお今期支出の実績は予算比1割弱となり、9割強を本部会計に戻入する見通しです。

### (3) 交流担当及び「東京八王子2022」関係

一瀬 明

「東京八王子 2022」に関して報告いたします。11月開催の大会の第1回目の案内を全国の各プロバスクラブに発送する時期になりましたので、4月理事会において予算の仮払いをお願いし了承されました。適当なタイミングで発送することといたします。大会の正式な予算は7月の定期総会に提案し会員の皆様の了解を得る予定にしておりますが、先月の例会でもご説明した通り事業規模は250万円で、収入見込みが会費などで200万円なので、ギャップが50万円ほどあります。これを知恵を絞っているいろんな手を打ったうえ

で縮小することとしていますが、なお20~30万円の不足が出る見込みです。足らざるところはクラブの活動準備資金特別会計からの支出をお願いしたいと考えております。

コ・ホストクラブへの就任をお願いした東京多摩プロバスクラブ、東京日野プロバスクラブ、埼玉浮き城プロバスクラブの近隣3クラブの代表に4月20日にご参集願ひ、11月大会の盛り上げに関して種々打ち合わせをする予定です。

全日本プロバス協議会関係では現在持ち回り常任理事会を書面で行って11月総会の議案の審議しております。当クラブの会長就任、第11回総会の奈良開催、会則の改正などが提案されています。

## 8. 卓話

### 陶芸にひかれた私

塚本 吉紀

老いていく自分を自分として、どう老いへの進行を鈍化させるか、それには、何かやりたいことつまり趣味を持つことではないかと考え、60歳の定年後に趣味を持たぬ生活はしたくない思いでした。



趣味として「動」と「静」の二つを持つと考えました。身体を動かす「動」、静かに一つのことに没頭し表現できる「静」。そして喜び満足感を感じ取れる「感性」は「動」と「静」を一緒にできるのではないかと思いました。そこで選んだのが動としての「ゴルフ」と静としての「陶芸」でした。

陶芸を始めた理由は、自分の人生の一つの区切りである60歳定年を前に、仕事以外に何か自分でやりたかったことが無かったか、やってみようかと思いついた末に陶芸にチャレンジしてみようとの思いに至りました。その原点は、幼い頃のドロンコ遊びによる型作りの面白さにありますが、陶芸は自分で描いた世界が形になって残ることでした。

趣味としての陶芸の難しさは多々あります。陶土にどのようなものを使うのか。陶土を混ぜ合わす割合、手がける作品の厚さを均一にすることなど。また、釉薬の選択、かけ方など勉強ないしは経験を積むことが求められます。

難しさだけではなく、楽しみもあります。

自分が思っているアイデアを出すことができます。作品への工夫や強調、使い勝手や見てくれなどを考えた作品を作る楽しさがあります。たとえば、ミルク注しのミルクの垂れない注し口の角度とか、マグカップ人差し指と親指だけでなく、中指をマグカップの背に指の入る部分を作るなど、持ち手の工夫を楽しみながら作ってみたりする。また、他の人が作っていない形のもの、見たこともない形のものを作ってみようとの楽しさもあります。

本焼きするとき焼窯のどの位置に入れるか、それにより窯変が起る楽しみがあります。つまり色艶がどう変化するのか想像できませんから。

作品を見た方の感想の言葉にも喜びを感じます。ここではどうしてこのようにしたのか、この部分は面白い、などの言葉を発してくれることがあります。私にとっては大変うれしいことです。なかには、「欲しいとか売って」と言われます。その時は、その方の表情に喜びを感じ、喜んで差し上げます。自分が工夫したところや強調した形を認めてくれた問いかけに対する感謝の気持からです。

出来上がった作品に料理を乗せ出してくれることや花を生けてくれることにも感謝と喜びで一杯です。

作品を作っていて感じたことを申し上げます。作品づくりで自分なりに工夫し、うまくいったと感じている作品を見ていただいた時、苦労したところ・工夫したところ・うまくいったところに対して言葉を掛けていただき、褒めていただくことがあります。作品を通じて私の作品制作意図が通じたことに、この上ない喜びを感じます。

見て頂いた人が何かを感じてくださるその中の一つでも、私と同じ見方、思い、捉え方があ



れば、それは言葉によらない同感、通じることがあったと思います。それが喜びをもたらすものであれば、喜びを持たせられた力が私の作品にはあったと心密かに満足する自分がそこにはいます。

陶芸には、今までに無い形を発想し、作品を手がけ

ていく楽しさがあります。日常に使う楽しさや便利さを更に求め、創作活動を続けていきたいと思っております。

私のつたない話に耳を傾けてくださった会員の皆様にお礼を申し上げて終わりにします。

## 9. プロバス賛歌

起立・黙唱

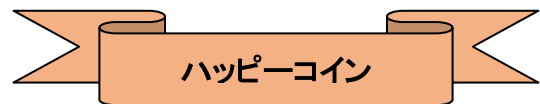
## 10. 閉会挨拶

池田副会長

今日は卓話あり、ゴルフクラブのお誘いありで、久しぶりに例会らしい例会になりました。しばらくお休みだった吉田会員、永井会員もお見えになりました。念願の昼食をご一緒できたのは幸いです。黙食は味気ないものです。楽しくお話ししながらテーブルを囲む日が待たれます。

塚本会員の陶芸にかける熱いお気持ちに共感を覚えしました。いいお話をありがとうございました。

2年余に及ぶ地域奉仕委員会のご苦勞に感謝します。新しい企画に向けて引き続きご協力をお願いします。



◆高校生の孫がアメリカン・フットボールの試合をしたと言ってその写真を送ってくれた。親バカならぬ爺々バカで、孫が格好良く実に頼もしく見えた。それに較べてこちとらは……？ アメ玉をしゃぶり、フツとため息をつくしか能が無い。若さ万歳！！

岩島 寛

◆ウクライナの惨状がLIVEで送られて来ます。77年も前の夏、少女の頃にアメリカ軍の空襲に逃げ回った自分に重ね合わせて見るのが辛いです。1日も早くウクライナにハッピーな日々が戻りますように祈るばかりです。

立川富美代

◆いちょうホールでの音楽祭すばらしかったですね。シニアダンディーズの皆さんお疲れ様でした。

有泉 裕子

◆欧州事案の報道を見るたびに、平和であることの素晴らしさを改めて感じます。コロナなんぞには負けられませんね。

馬場 征彦

◆片肺飛行で不時着もせず 7 年余り飛び続けてきました。あと何年飛行できるか一抹の不安もありますが、気を引き締め飛び続けたいと思っております。

内山 雅之

◆この 21 世紀の世にあって、たとえイデオロギーの違いがあるにしても信じ難いとんでもない軍事侵攻が起っています。一刻も早い平和が来ることを強く願っています。

山口 三郎

◆我が家の大きな桜もみごとに咲き、心を和ませてくれました。地続きの隣の緑地の芝桜、チューリップほか、多くの花が咲き毎日感動しています。

飯田富美子

◆ウクライナの戦場は想像以上です。今日プロバス例会に参加できる幸せをかみしめて、平和ってありがたいですね！！

飯田富美子

◆3 月に金婚式を迎えました。入院することもなくふたり元気に過ごせたことに感謝です。息子から贈られた、あつらえの健康枕で安眠できて Happy! です。

持田 律三

◆ウクライナに平和を！！

野口 浩平

◆何はともあれ、本日無事こうして例会が開かれたことに感謝！ 今後どうぞコロナに打ち勝てますように。

田中 信昭

◆自宅の近辺で十分桜を楽しめました。今年も元気で良かった。

下山 邦夫

◆俳句同好会は発足以来 11 年目を迎え、このたび自選句集「夕焼け」第 9 号を発行しました。これからも楽しい句会で創作の喜びを味わいたいと思います。

河合 和郎

◆秋の「東京八王子 2022」のコ・ホストをお願いしている近隣クラブと 20 日に初めての打合せを予定しています。いよいよですね。

一瀬 明

◆コロナのために延び延びになっていた音楽祭ようやく実施することができた。お世話になった皆様に感謝、感謝です。

一瀬 明

◆「時代を育てるはばたけ未来」と題した小中学校音楽活動優秀校音楽祭に協力出演した、八王子学園八王子高等学校の吹奏楽部が日本テレビの所ジョージの「笑ってこらえて」の番組に出演しますので、お時間のある方はどうぞご覧になって下さい。日本テレビでの放映は 4 月 20 日(水)夜 8 時からです。

塚本 吉紀

私の一句〈四月の句会から〉

河合 和郎

一堂に会しての句会は楽しかった。参加者は何となく高揚していた。矢張り句会の楽しさは「わいわいがやがや」の賑やかさが何よりなのである。

尻ぶつかり笑顔のお辞儀潮干狩り 田中 信昭

川柳顔負けの一句。尻と尻とがぶつかって笑顔のご挨拶。ユーモアたっぷりのメイ句誕生。

花筏手すり離せぬ谷深し 下山 邦夫

深谷の水面を埋め尽くす桜の花びらの花筏。こわごと覗き込む姿を「手すり離せぬ」と表現。

春憂えキウウの子らの笑み遠し 飯田富美子

こんな理不尽がまかり通っているのだろうか。ウクライナの子供たちに一日も早い平穏が。

庭隅からここに居ますと雪柳 馬場 征彦

庭に真白な雪柳が咲き群れている。「ここに居ます」という会話調がこの句を楽しくしている。

鎌倉や谷戸の細道花吹雪 野口 浩平

鎌倉には切通しや谷戸が多い。「谷」の兼題句に鎌倉をイメージするのは旅好きの作者ならではの。

畔塗りの父は鋏もて鋳さばき 東山 榮

田植えの準備は畔塗りが最後の作業。作者は父親の手際のよい作業を懐かしく回顧している。

谷川のきらめく流れ落の臺 矢島 一雄

春の訪れを告げる落の臺。谷川の流れも日ごと明るさを増している。春らしい一句に仕上がった。

夜桜の影に思ひ出ふたつみつ 池田ときえ

夜桜の雰囲気は何かしら怪しげである。心に残るあのこと、このこと。遠い思い出が蘇る。

谷わたる風に彩あり花の山 河合 和郎

高尾の森林科学園のサクラ保存林は日本中の桜の種を集めている。この山の花吹雪は正に圧巻である。

編集後記

プロバス日より第 318 号をお届けします。

4 月例会は昼食後に塚本会員の卓話を実施、本号に掲載することができました。

丸山 恭



